

ブックステーションはびきのコロセアム ☎ 937-7210(火・木・金曜日 13:30～16:30)  
ブックステーション青少年児童センター ☎ 952-0032(月～土曜日 9:00～17:00)

ブックステーション野々上東 ☎ 950-5501(月・水・金曜日 13:30～16:30)  
古市図書館 ☎ 958-0050(水～日曜日 10:00～17:30)

## 読んでみませんか?

～新刊案内～

### 『abさんご』

黒田 夏子／著 文藝春秋

全文横書き、固有名詞なし。日本語の限界に挑戦し、早稲田文学新人賞・芥川賞を受賞した、「75歳の女流新人」の超話題作です。他に2編を収録。



### 『かわいい自分には旅をさせよ』

浅田 次郎／著 文藝春秋



京都、北京、パリ、シチリア…。人生の達人、浅田流の旅の極意が詰まったエッセイ集です。家にいながらにして、ちよっぴり旅気分を味わってみませんか。

### 『びんぼうがみじゃ』

荻田 澄子／作 西村 繁男／絵 教育画劇



ある日、だんご屋のたつくんの家に貧乏神がやってきた。それ以来、お店のだんごはカチカチになって売れないし、とうとう家まで傾いてきた。たつくん一家の運命は?

### 第19回朗読発表会

3月9日(土) 13:30～

LICはびきの音楽実習室

主催:朗読ボランティアグループはびきの

定員:80人(当日先着順)

### 春の読書講演会

テーマ「絵本の読み聞かせ・再入門」

講師 神村 朋佳氏(大阪樟蔭女子大学講師)

3月17日(日) 13:30～

羽曳野市役所別館3階 会議室

定員 100人(当日先着順)

## おはなし会

- 3月 3日(日) 陵南の森図書館 14:00
- 3月 9日(土) 羽曳が丘図書館 15:00
- 3月10日(日) 陵南の森図書館 14:00
- 3月13日(水) 東部図書館 10:30
- 3月16日(土) 陵南の森図書館 15:00
- 3月16日(土) 古市図書館 15:00
- 3月17日(日) 陵南の森図書館 11:00(小さい子向き)  
11:30(少し長いお話を聞ける子向き)
- 3月23日(土) 丹比図書館 10:30
- 3月23日(土) 羽曳が丘図書館 15:00
- 3月24日(日) 陵南の森図書館 14:00
- 3月3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)  
中央図書館 13:30

### 今月の休館日

# 3月31日(日)

※図書館は月末日を除き、日曜・祝日も平常どおり開館しています。  
※野々上東ブックステーションは3月末日をもって閉館します。

## サラダボール

人は誰しも自分らしい生活をおくりたい。しかし、さまざまな原因でそのことがかなわない場合があります。

日常生活の支援や必要な援助を受けることができる福祉サービスが用意されている今日ではありますが、このようなサービスを受ける場合には申請が必要です。その後、事業所などとの契約が必要になる場合もあります。すべての場面で本人の意思を表明することが求められます。

そうしたときに、判断力が十分でないことで不利益のないように、さまざまな権利擁護の制度がつけられています。

そのひとつが、成年後見制度です。

判断能力が十分でない方々(認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など)について、本人がお持ちになっている預貯金や不動産などの財産管理、介護施設への入退所などの生活に配慮する身上監護を、本人に代わって法的に代理や同意、取消をする権限を与えられた成年後見人などが行うことで、本人の権利を守るという制度です。

この成年後見人には、弁護士、司法書士、社会福祉士、税理士などの専門職や親族などが、家庭裁判所で選任されます。また、この制度の広まりや対象者の増大などで、新たな後見人として、いま「市民後見人」

が実際に後見人として全国各地で活動しています。これは一般の市民が一定の養成研修などを受け、後見人として活動するものです。頻度の高い訪問やきめ細やかな後見活動など専門職とは違った、市民の立場からの後見活動が特徴です。また、市民が地域に根ざした活動をするにより、成年後見制度はもとより、認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などへの理解など、結果として、市民に対して、地域福祉への理解を深めることも期待されています。

こうした制度の有効な活用によって、ひとりひとりがその人らしく生活できる社会をつくっていききたいものですね。

はびきの し じんけんけいはつすいしんきょうぎかい  
羽曳野市人権啓発推進協議会